

市内景気動向調査結果

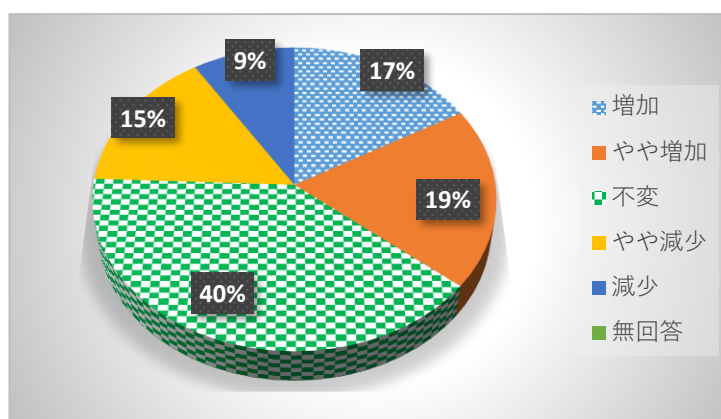
この調査は、第1四半期（令和6年4月から6月）と前年同期間（3ヶ月）の比較を、当商工会員より回答いただいたものです。

有効回答数	建設業	製造業	運輸業	卸小売業	サービス業	その他
78	20	11	3	12	27	5

※その他は、回答数が少なかった不動産業、飲食業

1. 売上高はどう変化したか。

増加	13
やや増加	15
不変	31
やや減少	12
減少	7
無回答	0
合計	78

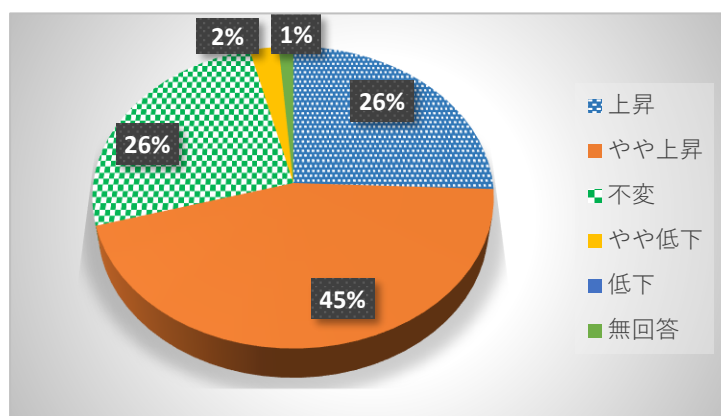


【コメント】

- 増加・やや増加が35.9%、不変が39.7%、やや減少・減少が24.4%であった。前年同期では、増加・やや増加が35.2%、不変が21.6%、やや減少・減少が38.7%であったので、若干減少傾向にある。
- 増加・やや増加の業種別割合は、サービス業が40.7%、製造業が36.3%、卸小売業が33.3%、建設業が30.0%であった。
- やや減少・減少の業種別割合は、製造業が45.5%、建設業が35.0%、サービス業が18.5%、卸小売業が8.3%であった。
- 昨年5月に新型コロナウイルス感染症の分類が5類に移行し、前年同期との比較で売上減少の割合が卸小売業で大幅に改善された。

2. 仕入単価はどう変化したか。

上昇	20
やや上昇	35
不変	20
やや低下	2
低下	0
無回答	1
合計	78



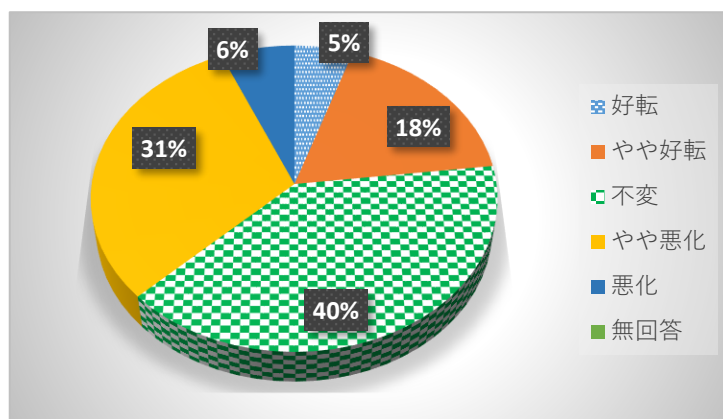
【コメント】

- 上昇・やや上昇が70.5%、不変が25.6%、やや低下・低下が2.6%であった。前年同期では、上昇・やや上昇が79.5%、不変が17.0%、やや減少・減少が2.3%であった。

- 上昇・やや上昇の業種別割合は、卸小売業が83.3%、サービス業が70.4%、建設業が70.0%、製造業が54.5%であった。
- 依然として、エネルギー価格の高騰、円安等の要因により物価上昇が続いている。

3. 採算について

好転	4
やや好転	14
不変	31
やや悪化	24
悪化	5
無回答	0
合計	78

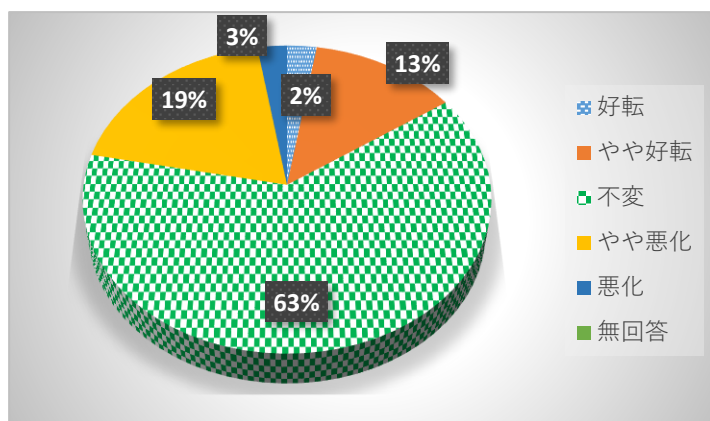


【コメント】

- 好転・やや好転が23.1%、不変が39.7%、やや悪化・悪化が37.2%であった。前年同期の好転・やや好転が15.9%、不変が39.8%、やや悪化・悪化が43.2%であった。
- やや悪化・悪化の業種別割合は、製造業が63.6%、卸小売業が41.7%、建設業が35.0%、サービス業が25.9%となっている。
- 数値的には若干改善されているものの、仕入単価等の上昇・高止まりが続いており、経営的に厳しい状況が長期間継続している。

4. 資金繰りについて

好転	2
やや好転	10
不変	49
やや悪化	15
悪化	2
無回答	0
合計	78

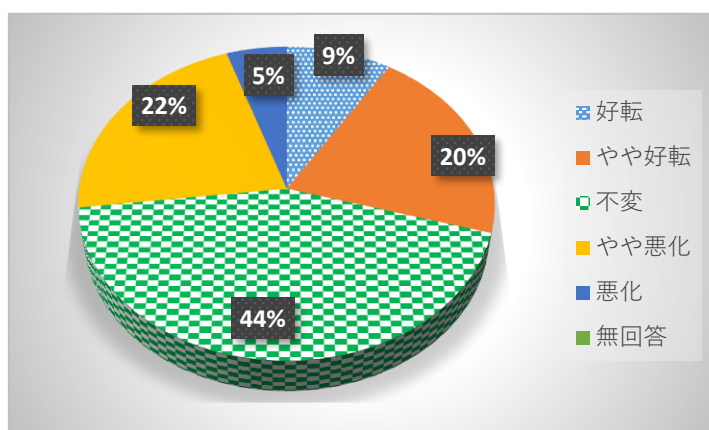


【コメント】

- 好転・やや好転は15.4%、不変が62.8%、やや悪化・悪化が21.8%であった。前年同期の好転・やや好転が13.6%、不変が64.8%、やや悪化・悪化が20.5%であった。
- 資金繰り悪化の業種割合では、製造業が45.5%、サービス業が25.9%、卸小売業が16.7%、建設業が5.0%であった。
- 製造業においては、売上高の減少、仕入単価の上昇、採算の悪化、資金繰りの悪化と、どの比率も高い状態にあり今後の動向を注視する必要がある。
- 資金繰りについては、ほぼ前年同期と同様の状況で、資金需要は大きく増えている状況にはない。

5. 業況について

好転	7
やや好転	16
不変	34
やや悪化	17
悪化	4
無回答	0
合計	78

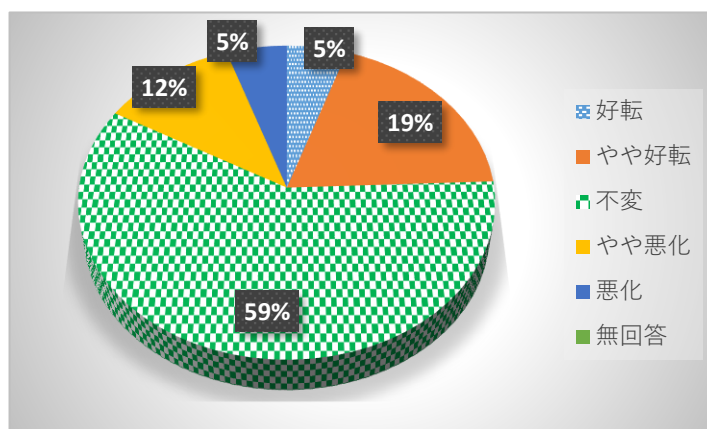


【コメント】

- 好転・やや好転は29.5%、不変が43.6%、やや悪化・悪化が26.9%であった。前年同期は、好転・やや好転が25.0%、不変が37.5%、やや悪化・悪化が36.4%であった。
- 業況悪化の割合が高い業種では、製造業が45.5%、建設業が30.0%、卸小売業が25.0%であった。
- サービス業においては、他の業種に比較して採算、業況等が大きく改善している。

6. 今後3ヶ月間の業況について

好転	4
やや好転	15
不変	46
やや悪化	9
悪化	4
無回答	0
合計	78



【コメント】

- 好転・やや好転が24.4%、不変が58.9%、やや悪化・悪化が16.7%で、前年同期では、好転・やや好転が36.4%、不変が38.6%、やや悪化・悪化が23.9%であった。
- 今後3ヶ月間の業況予想では、不変と回答した企業が約6割となっており、北海道ボールパーク等を訪れる観光客が増加しているが、市内企業の景況感を押し上げるまでにはなっていない。

■ 回答事業所からのコメント

【建設業】

- 公共工事の発注が遅れぎみで労務者の確保に余分な支出が生じている。今後の公共工事および下請け工事の発注により好転するものと思う。
- 徐々に仕事が増加しております。
- 7月以降本格的に現場が動き出すので、今後は売上も好転すると思われます。
- 繁忙期を迎え業況が好転している。

- 不採算部門の統合、営業戦略の見直し、適正価格への転嫁。
- 毎年の市況は4月<5月<6月と良くなりますが、今年は4月>5月>6月と悪くなっていると思う。
- 仕入価格が高騰しているので、採算が合わない。
- 仕入単価が安定しない。
- 前年比で見ると仕入単価も上昇していますが、1件当たりの平均受注単価もアップしているため売上増となっています。
- 元請企業へ値上げ交渉をしたものの、一部企業には一時的な値上げで打ち切られたりと、当初の予定額には達せず、従業員の給料も上げたため非常に厳しい状況。原材料価格の高騰も人材不足も続いているため、業績悪化も継続中。

【製造業】

- 前年に比べ商談件数は増加しつつある。
- 仕入単価の上昇に加え、人件費の上昇と人手不足による。
- なお続く原材料費の高騰に光熱費エネルギーコストの上昇で、製造原価コストに影響が助長している。改善活動+コスト削減策など対応を行うが、医療品価格は毎年の国策医療費抑制策の一つである薬価改正で落とされ、原価削減策が打ち消される状況で好転していない。
- 流通価格の上昇により、設備の買い控えを懸念しております。受注案件の引き合いもやや落ち込んでいる感がある。各企業は足元厳しいが、目線を足元から前（先）に向けた投資計画が必要となるだろう。
- 物価高の影響でリフォームは最小限の感あり。
- 前年同期は値上げ後の売上やコロナ禍の最後需要で売上も利益も出たが、現在は見込めない。今後別の商品群で売上、利益を維持できればと考えている。

【運輸業】

- 乗務員の確保のため、人件費増が見込まれる。
- 時期的なものもありますが、貨物の物量が昨年よりも増加しており、売上は上昇しております。

【卸小売業】

- 新聞代が値上がりし、お客様の減少により売上減。
- 買い取り、下取り強化の成果。
- 売上は増加しました。除菌水がコンスタントに売れ出しました。通常夏場は減少ですが、まだ新型コロナ、インフルエンザの影響があるようです。イベントが増えているのでゲームの売上は上がっていますが、ゆるキャラグッズの売上げはボールパーク開業から1年過ぎて伸び悩んでいます。ただ交流戦の時は売上が上がっております。
- 需要は落ちていない。主力の季節商品がこれから伸びる見込み。必要なときに必要なものを購入する傾向。
- まだまだ続く物価高騰で、今年度は値上げを考えています。秋ぐらいの予定です。「その前に購入」が多くなりそうです。
- 売上が若干増えたけど、利益率はあまり良くない。個人事業主（一人親方）との取引が多いせいか売上の割に消費税が増えた。国はとれるところから取る（消費税）方針だ。国民負担率が50%近くまで上がっているのに、まだ増税をしようとしている。世が世なら一揆が起きてもおかしくない。税金（年貢）を納めるために働いている気がしてならない。

【サービス業】

- 建設業主體のため6・7月からの動き出しとなります。大きく好転することもなく昨年並みくらいと予想しています。
- これまでは整備がメインの売上であったが、車両販売に力を入れたことで売上が伸びた。
- 仕入材の値上がり、燃料等の値上がり、出張宿泊費（ホテル）の値上がり。
- 単価、無駄な経費の見直しを行ったため、売上高の増加に繋がった。

- 学校のアクティブラーニングが、下位～中位層の学力を下げているため、塾需要が高まっている。
- 昨年同様、求人の募集に反応がない。今回は問い合わせも来ていない。イベントは7～8月に集中していて昨年並みの受注ができそうだが、土日開催のため動員スタッフのやりくりが大変になりそう。
- 生産物量増加しているが、原材料費の高騰、燃料費・光熱費の高止まりの影響により実績については、昨年度と大きく変動はない。
- 新年度からの人件費率の増加、設備整備費・資材費等の値上げ傾向が続いているなど、計画予算に対する実績収支は厳しい状況である。7月下旬から8月末にかけて、業界的に繁忙期となることから、ある程度の売上確保は期待できるが、燃料・光熱費等の使用料増加や価格変動の関係から次四半期の収益性で、大きな期待はできないと想定される。
- 当初の見込みより、集客活動の反応が鈍いが、鈍くとも需要はあるため利用者数は増加傾向である。
- 売上の増加、仕入単価のやや上昇。
- 客数は増加して売上も上がったが、仕入など経費の上昇により粗利がない状況です。サービスの向上とともに料金の値上げを検討しています。
- エスコンフィールド北海道での日本ハムファイターズによる試合開催の効果および海外からのゴルフ利用客の増加。

【その他】

- ナイターがある日は地元の人でも動かずとても悪いのに加え、試合日は周辺駐車場全てが馬鹿みたいな金額になるので、お客様が車を止める場所がない。空いているのに止めることができないのは意味不明。元から営業していた周辺の店のことをもっと考えてほしい。
- 地価が下がっているため仕入単価は低下しており、また建物建築費の高騰などで新築が売れないため、土地も売れない状況が続いております。しかしながら経費は上昇しているため、業況は悪化しています。今後は、昨年よりは動きが増してきてるが単価は下がるためプラスマイナスゼロで横ばいだと思います。
- 仕入単価の上昇はあるが、売価の値上げとのバランスが悪い。